

平成28年度 議会運営委員会行政視察報告について

委員長	佐々木益雄
副委員長	新原 善信
委員	後藤 理恵
〃	田代 和誠
〃	城山 雅朗
〃	百瀬 光子
〃	入江 和隆
〃	山田 忠
議長	井上 勝彦
副議長	田中 雅光

標記の件について報告します。

【視察日時】 平成28年8月16日 午後2時30分～午後4時30分

【視察先】 兵庫県丹波市

【視察内容】 政策討論会について

【取り組み経緯】

議会運営委員会（平成27年4月21日）

早々の討論会開催に向け、4月中に各会派から幹事を選出し、5月29日に幹事会を開催することと幹事会を今後常設することを確認。

幹事会（平成27年5月29日）

正副会長を選出し、次回幹事会で各会派からの討論会の議題を決定することを決定。

幹事会（平成27年6月25日）

討論会の運営に関する申し合わせ事項を協議し、討論会の議題を新風会から提出された「地方創生に伴う人口減少対策」に決定。

議員総会（平成27年7月15日）

市より、平成27年度の丹波市丹（まどころ）の里創生総合戦略を策定にむけて、策定方針が議員総会において示される。その内容は、課題・論点を設定し、議会に説明し、議会の意見、提案を踏まえて、人口ビジョン・総合戦略の策定にあたるというもの。

市の提案を受けての政策討論会

議会では、市から示された課題・論点のうち

- ① 人口ビジョン、総合戦略全体にかかわるもの
- ② 人口の社会増の取り組みに関するもの

③ 人口の自然増の取り組みに関するもの
について、8月から6回にわたり政策討論会で自由討議を重ね、10月に「丹波市丹（まごころ）の里創生総合戦略に係る提言書」としてまとめ、本会議で議決の後、市長に提言書を提出。

【効果】

丹波市議会は、議会基本条例第16条（政策討論会）で「市政に関する重要な政策及び課題に対して、議会としての共通認識の醸成を図り、合意形成を得るため、政策討論会を開催する」と定めている。この討論会は、議員の自由討議の具体的な実践の場であり、二元代表制の一翼を担う議会としての責任と意欲を高め、議員相互が積極的に意見交換を行うことを目的としている。

丹波市議会で実際に開催したのは平成27年度が第1回で、試行錯誤しながらの開催であったということで様々な課題も見えてきたということである。しかし、合意形成と政策提言という議会活性化の方向性は間違いないように思われる。

【課題等】

- ① 議題（テーマ）設定の方法、内容（絞り込み）
- ② テーマについて会派での調査研究は適当か
- ③ 会派からの提言をもとに討論会で提言にまとめることの可否
- ④ 提言はだれが取りまとめ、議会の総意とする手続きはどのようなのか
- ⑤ 市長への提言に対して、どのような方法で回答を求めるのか

平成28年度 議会運営委員会行政視察報告について

委員長	佐々木益雄
副委員長	新原 善信
委員	後藤 理恵
〃	田代 和誠
〃	城山 雅朗
〃	百瀬 光子
〃	入江 和隆
〃	山田 忠
議長	井上 勝彦
副議長	田中 雅光

標記の件について報告します。

【視察日時】 平成28年8月17日 午後2時～午後4時

【視察先】 静岡県菊川市

【視察内容】 政策討論会について

菊川市は静岡市と浜松市の中間に位置し、市の中央を1級河川菊川が流れ緑豊かな環境が残り、東海道本線・東名高速道路菊川インターチェンジを有し、隣接した静岡空港・東海道新幹線・御前崎港など交通の利便性に望まれた将来性豊かな街です。

外国人の人口が多くブラジル人を中心に平成28年4月現在総人口の5.5パーセントにあたる2,644人が生活をしています、また温暖な気候と地理的条件に恵まれ「日本一の大茶園」牧之原大地が広がり、お茶業・水稲・施設園芸等の農業が展開されています。

平成21年9月菊川市議会政策討論会実施要綱が制定され、平成25年「防災について」、平成26年度は「人口減少問題・農業問題・消防団対策・原子力発電所避難計画」について14項目の政策要望、平成27年度は5項目の政策要望が提出されています。

特に平成27年度は3月9日から幹事会を9回、全体会を4回行い9月8日政策提言書を市長に提出しています。

①取り組みの経過

- (1) H27. 3. 9 第1回幹事会 正副会長の互選
- (2) H27. 4. 6 第2回幹事会 ① 平成26年度政策討論会の反省
② 平成27年度政策討論会のテーマ選定
- (3) H27. 4. 7 各派代表者へ提案するテーマの提出依頼
- (4) H27. 4. 21 第3回幹事会 今年度のテーマを「人口減少対策（子育て）」

- 「人口減少対策（雇用）」に決定
- | | | | | |
|------|--------|----------|----------------------|--|
| (5) | H 2 7. | 5. 1 3 | 第 4 回幹事会 | テーマに係る資料の確認（1テーマ2つ以内）
今後の日程・進め方の確認 |
| (6) | H 2 7. | 5. 1 9 | 全員協議会 | 今年度のテーマを報告し提案書の提出依頼 |
| (7) | H 2 7. | 6. 4 | 執行部との打ち合わせ | （今後の政策討論会の進め方について） |
| (8) | H 2 7. | 7. 1 3 | 第 1 回全体会 | 執行部との話し合い結果報告
① 各議員から提案内容発表
② 意見交換会（1テーマにつき3つを選定）
③ 3グループに分かれ意見交換会後投票 |
| (9) | H 2 7. | 7. 1 4 | 第 6 回幹事会 | 第 1 回全体会投票結果について |
| (10) | H 2 7. | 7. 2 1 | 第 2 回全体会 | 投票結果報告・投票理由を説明後意見交換及び投票（1票以上のものから1テーマ2つ以内） |
| (11) | H 2 7. | 7. 2 3 | 第 7 回幹事会 | 第 2 回全体会の投票結果について |
| (12) | H 2 7. | 7. 2 8 | 第 3 回全体会 | 上位 5・6 位までの提言者から効果・課題等説明
テーマごとにグループに分かれ意見交換後幹事会、司会者、記録者が今後について協議 |
| (13) | H 2 7. | 8. 7 | 第 8 回幹事会 | テーマごとに作成した提言書について説明・確認 |
| (14) | H 2 7. | 8. 1 2 | 第 4 回全体会 | テーマごとに作成者から説明、意見交換 |
| (15) | H 2 7. | 8. 2 5 | 第 9 回幹事会 | 提言書の最終確認、今年度の反省、今後の日程 |
| (16) | H 2 7. | 9. 8 | 政策提言書を市長へ提出 | |
| (17) | H 2 7. | 1 1. 2 5 | 正副議長、政策討論会正副会長 | へ執行部より回答について説明 |
| (18) | H 2 7. | 1 2. 4 | 政策提言書に対し市長より回答報告書の提出 | |
| (19) | H 2 7. | 1 2. 2 1 | 全員協議会 | 執行部回答に対し小笠原座長より説明 |

市長への提言内容としては、人口減少対策（子育て）として二つ、同じく人口減少対策（雇用）として三つの事業を掲げています。

子育ての一つ目は、子育て世代が親と同居もしくは近くに住むことにより、若い世代の流出を防ぐ、また高齢者の見守りと空き家対策を図るため、「子育て世代と祖父母世代の、同居と近居の新・改築補助事業」を行うことです。

二つ目は、若い世代は経済的負担が大きいため、第2子以降を出産し育児休暇を取った場合、雇用保険などの給付金減少を援助し、安心して出産・子育てができるように、「第2子からの育児休暇給付金」を支援することです。

次に雇用の一つ目は、専門的知識を持つ学生を養成する教育機関を誘致し、産業・企業の進出、土地利用、高校卒業後の地元進学、卒業後の地元企業への就職を推進するため、「専門職業大学の誘致」をすることです。

二つ目は、市内企業に新規大卒者等地元採用枠の推進を行い、行政と起業の情報交換・コミュニケーションを図り、産官学連携による地域創生への人口減少対策・地域活性化対策として、「新卒就職応援コーナーを設置」することです。

三つ目は、女性・主婦が活躍できる就労の場・仕組みを創出し、地元出身女性のUターン・Iターン、更には他地区からの転入者の増加を推進するため、「女性の就労支援と起業支援」を行うことです。

この9月8日に提出された政策提言書を受け、11月25日には正副議長及び政策討論会正副座長へ、執行部から回答に対する説明がされました。

更には、政策提言書に対する検討結果の回答が、12月4日に市長より報告書として提出がありました。

就職応援では市ホームページを活用した就職情報を発信し、企業交流会と情報交換事業を強化する。

女性就労支援では創業セミナーの開催や、商工会と連携した個別相談会の実施、またハローワーク出張相談会を毎月1回開催する。

新・改築補助事業として、市内に住宅を取得した場合に補助金を交付し、特に三世代同居要件の該当者については、補助金額を高く設定する。

育児休暇給付金では、27年度から始まった経済的支援である「新生児出産祝い金」による支援とともに、育児休業中でも保育園の継続利用や、子育てセンターの充実に取り組みます。

以上のような内容で提言書に対する回答がありました。

菊川市は議会基本条例第12条関係に政策討論会設置要綱が定められており、市制に関する重要な政策及び課題に対しての議会としての共通認識の熟成を図り、合意形成を得るため政策討論会を開催し、全議員が一同に会し二元代表制の一翼を担う議会としての責任と意欲を高め、各議員が建前ではなく本音の思いを徹底的に意見交換を行うことを目的としています。

今回の視察研修を機会に今後小郡市議会として、どのような形で政策討論会を開催していくのか議論をしていく必要があります。